



代表理事組合長
岩 次則

新年明けまして

おめでとーございませす

組合員並びに地域の皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より当J Aの事業運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症が再拡大するなかで、ウクライナ情勢の悪化や円安の進行などの影響により農畜産物の価格が低迷したことに加え、燃油や肥料・飼料等の生産

資材価格が高騰し、農業経営を圧迫した一年となりました。

また、国際貿易交渉をめぐる情勢については、平成30年のTPP11の発効以来、日EU・EPA、日英EPA等につき、昨年1月にはRCEPが発効するなど、自由貿易化の流れが一段と加速しております。

昨年の種子屋久管内の農業生産については、9月に発生した台風14号により、農産物や家屋等に被害が発生いたしました。特に基幹作物のさつまいもについては、台風による大雨の影響により基腐病の発生が拡大し大幅な減収となりました。被害防止対策の構築が喫緊の課題であり引き続き国・県と連携して対策に取り組んで参ります。さとうきびについては、台風による倒伏はあったもののその

後の天候等に恵まれたことから平年並みの収量を見込んでいるところです。

畜産部門については、肥育農家の経営環境の影響などにより8月セリの子牛価格が暴落しましたが、その後は持ち直し回復基調にあるところです。

こうした状況の中で、今後も農業およびJ Aを取り巻く環境は一層厳しい状況になると予測されますが、足元の事業基盤を固め組合員・利用者との安心と信頼の絆を未来に繋げていく農協経営に役員一体になって取り組んで参りますので、引き続き皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい一年が皆様方にとりまして、より良い年になることを心からご祈念申し上げます。

常勤理事

代表理事組合長

岩 次則

管理経済常務

鎌田 昭一

信用共済常務

古市 修二

理事

宮脇 幸喜

脇田 峰生

中村 正幸

田中 義人

砂坂 浩一郎

古市 康秋

岩川 孝行

岩川 原造

岩元 宮子

里 信子

岩川 憲一郎

代表監事

常勤監事

中目 啓喜

監事

松村 隆浩

員外監事

後庵 和信

